

簿記原理 II

科目ナンバリング ACC-102
選択必修 2単位

坂内 慧

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では簿記を初めて学ぶ学生を対象とし、初歩的な簿記処理を扱います。簿記は企業などの様々な経済主体を対象とし、その活動を継続的に記録、計算し、その結果として財産の増減および状態、ならびに損益の発生を明らかにすることを目的としています。そこで、本講義では簿記検定試験を意識しながら、財務諸表作成までの簿記記録の流れを学びます。

2. 授業の到達目標

初歩的な簿記処理ができるようになり、企業活動を理解できるようになることです。

3. 成績評価の方法および基準

成績は以下の基準を目安に総合的に評価します。

定期試験:70%

平常点(小テスト等):30%

4. 教科書・参考文献

教科書

新田忠誓 他 『エッセンス簿記会計』(最新版) 森山書店

新田忠誓 監修 『全経簿記能力検定試験公式問題集 3級』(最新版) ネットスクール出版

5. 準備学修の内容

予習は特に必要ありません。講義後の復習として、扱った単元を読み込み、対応する練習問題を解いてください。

6. その他履修上の注意事項

講義にはテキスト、問題集、電卓、ノート、筆記用具を持参してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
: 講義内容の紹介
- 【第2回】 現金預金取引
: 現金預金取引に関する簿記処理について学びます。
- 【第3回】 商品売買取引と掛取引
: 商品売買取引(三分法)に関する簿記処理を学びます。
- 【第4回】 売上原価の計算方法
: 売上原価の計算方法について学びます。
- 【第5回】 商品売買取引に関わる様々な補助簿①
: 仕入帳・売上帳と買掛金(仕入先)元帳と売掛金(得意先)元帳について学びます。
- 【第6回】 商品売買取引に関わる様々な補助簿②
: 商品有高帳について学びます。
- 【第7回】 その他の債権・債務
: その他の債権・債務の簿記処理について学びます。
- 【第8回】 手形取引等
: 手形取引等の簿記処理について学びます。
- 【第9回】 有価証券と有形固定資産
: 有価証券と有形固定資産の簿記処理について学びます。
- 【第10回】 売上債権の貸倒れ
: 売上債権の貸倒れに関する簿記処理について学びます。
- 【第11回】 収益費用の見越繰延、株式の発行等
: 収益と費用の見越繰延、株式の発行等の簿記処理について学びます。
- 【第12回】 精算表の作成
: (8桁)精算表の作成方法について学びます
- 【第13回】 損益勘定(損益計算書)と残高勘定(貸借対照表)の作成
: 損益の振替え、損益勘定と残高勘定の作成方法について学びます。
- 【第14回】 伝票会計(オンライン)
: 三伝票制における処理を学びます。
- 【第15回】 講義のまとめ